

# 令和3年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：31005

学校名：向陵中学校

「健やかな身体」育成プログラムのポイント

◎運動やスポーツをすることで楽しさや喜びを実感し、運動やスポーツへの意識を高め、実践する態度の育成を図る。  
◎規則正しい生活習慣の確立に向けて、健康に関する意識を高め、実践する態度の育成を図る。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「健やかな身体」の育成に係る目指す子ども像	☆体を鍛え、明朗で健康な心身を養う生徒		
「健やかな身体」に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	<b>【具体的な取組】</b> ○体育の授業の工夫・改善 ○グラウンドでの運動の推奨	<b>【成果】</b> ⇒感染症対策を十分にとった上で、保健体育科において体を動かすことができた。 ⇒設備的に運動場所が限られている上、感染症対策を行わなければならない、成果を得にくい結果となってしまった。 ⇒体育大会・雪中レクについても実施を見合わせた。	<b>【課題】</b> ■学級数が多く、保健体育科の授業の内容や場所、時間の制限、運動する場所での混雑状況など、解消しがたい本校ならではの課題がある。 ■ICTを活用したスポーツや健康に関する知識・技能の習得や、思考力・判断力・表現力の育成を行う。
	B 健康に関する指導の充実	<b>【具体的な取組】</b> ○健康教育の充実（保健体育での授業、養護教諭による保健だより発行、感染症予防や生徒のメンタルヘルスに関する啓発活動、薬物乱用防止に関する授業の実施等） ○食育の充実（栄養職員による給食だより発行）	<b>【成果】</b> ⇒様々な機会を通して健康に関する生徒へのアンケートを実施し、その結果をフィードバックすることで、健康に関する指導・啓発に努めることができた。 ⇒学校だよりを通して、保護者に向けた健康教育の啓発活動に取り組むことができた。	<b>【課題】</b> ■生活習慣に関する保護者の悩み等について個別に相談はあるものの、生活習慣改善について、学校や学年で保護者と話す機会がほとんどない。懇談会等で計画的に健康に関する情報提供等を行っていく必要がある。 ■よりよい生活に向けて、メンタルヘルスや携帯機器の利用について成果が実感できる啓発を行う。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	B 生徒自らが健康的な生活習慣の重要性を認識し、適切な「運動・睡眠・食事」を実践する態度や能力の育成を図る。		
	A 体育に関する指導の充実	○保健体育科の授業の工夫・改善 ○ICTを活用した体育分野の資質・能力の向上を目指した授業の構築 ○健康カードへのスポーツテスト等の記録記入の取組 ○休み時間、グラウンドや体育館等での活動を推進する習慣の検討、実施 ○学校生活でできる体力づくり（歩く、走る、踊る等）の推奨		
	B 健康に関する指導の充実	○生活習慣に関しての各種調査の結果分析に基づき、生徒・保護者への啓発活動を行う。 ○ICTを活用した保健分野の資質・能力の向上を目指した授業の構築 ○生活習慣指導、食育、環境教育等の充実を図り、運動・食事・睡眠のバランスがとれた生活習慣の確立を目指す。 ○性教育や生命尊重に関わる指導の充実を図る。（保健の授業、道徳等） ○PTAや地域の関係機関と連携し、生徒が規則正しい生活習慣を送れるように保護者へ啓発していく。		
検証の方法	各種調査等の活用	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用 ○学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 ○学校評議員会・学校関係者評価等の活用		